

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	<ul style="list-style-type: none"> ・中九州横断道路「大分宮河内IC～犬飼IC」間の早期事業化へ向けた計画段階評価の加速化、「竹田阿蘇道路」の整備促進と中津日田道路「三光本耶馬溪道路」の整備促進及び「耶馬溪山国道路」「日田山国道路」の整備支援について、国への要望活動を引き続き実施した。 ・中九州横断道路「大分～犬飼」間において、第1回計画段階評価(地域課題や政策目標及び地域への意見聴取方法など)が審議された。 ・R3.4に中津日田道路「三光本耶馬溪道路(田口IC～青の洞門・羅漢寺IC間)」のR5年度開通が公表された。
②	<ul style="list-style-type: none"> ・東九州新幹線の整備計画路線への格上げに向けて、シンポジウムの開催やPR動画の制作・配信、啓発グッズの作成など県民の機運醸成を図るとともに、国への要望等を行った。 ・県や沿線市町などで構成する日豊本線高速・複線化大分県期成同盟会において、日豊本線の高速・複線化について、国とJR九州への要望を行った。
③	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急輸送道路上の橋梁について、落橋を防ぐ補強対策を実施した。 ・災害に強い広域道路ネットワークの機能を確保するため、東九州自動車道の4車線化に向け、優先整備区間のうち残る未事業化区間「院内IC～速見IC」間、「臼杵IC～佐伯IC」間の早期事業化について、国や関係機関への要望活動を引き続き実施し、「津久見IC～佐伯IC」間の一部区間(L=3.3km)が、R4.3に事業化された。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(3年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①	(公)道路改良事業	—	366
②	東九州新幹線推進事業	105.5	366
③	道路施設補修事業	—	133
	港湾整備事業	—	363

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○土木建築委員会への市町村長要望(R3.5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹田阿蘇道路の早期完成と、本市の主要幹線道路とのICの整備並びに大分～犬飼間の早期事業化について特段の配慮をお願いする。 ・日田山国道路及び耶馬溪山国道路の事業推進並びに国土交通省の直轄事業である三光本耶馬溪道路の早期完成に向けて県関係機関の力添えをお願いする。 ・東九州道の鹿児島までの全線完成に加え、暫定2車線区間の4車線化に向け配慮をお願いする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○大分県商工会議所連合会知事要望(R3.10) ・東九州自動車道の事業化された区間の早期完成と、優先整備区間の早期事業化 ・中九州横断道路(竹田阿蘇道路)の早期完成と東九州自動車道への接続について国や関係機関に働きかけていただくよう特段の配慮をお願いする。 ・中津日田道路の建設促進について特段の配慮をお願いする。 ○経済5団体「東九州新幹線の早期実現」「高規格道路の整備促進」「東九州自動車道における暫定2車線区間の早期4車線化」についての要望(R3.11,12) ・東九州新幹線の早期実現、高規格道路の整備促進、東九州自動車道の早期4車線化について特段の配慮をお願いする。
---	---

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・中津日田道路「耶馬溪道路」が開通し、「耶馬溪山国道路」が新規補助事業採択されたものの、中九州横断道路や中津日田道路などの地域高規格道路は未だ整備途上であることから、人や物の流れを活性化させ、観光や産業を発展させる地域高規格道路の整備を推進する。 ・東九州道自動車道「宇佐IC～院内IC」間、「臼杵IC付近」「大分宮河内IC～臼杵IC」間に続き、「津久見IC～佐伯IC」間がR4.3に4車線化が新規事業化されることとなった。残る「優先整備区間」について、引き続き早期事業化を要望していく。 ・東九州新幹線の整備計画路線への格上げに向けて、国等へ強く働きかけていくとともに、シンポジウムや説明会の開催などにより、将来を担う若い世代を中心に、幅広く県民の機運醸成を図っていく。